



# 医学部だより

第46号

2023.4.1



## ようこそ創立80周年を迎える徳島大学医学部へ

医学部長 西岡 安彦

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の波が繰り返す中での受験勉強を無事乗り越え、徳島大学医学部での大学生活に夢を膨らませていることと思います。3年半におよぶCOVID-19の蔓延は社会生活に多大な影響を及ぼしてきましたが、5月8日からはCOVID-19の感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に引き下げとなりますので、いよいよ本格的なウィズ・コロナの時代を迎えることになります。徳島大学医学部での大学生活を十分に満喫できるよう学業のみならず様々な活動にチャレンジしていただきたいと思います。

さて徳島大学医学部は令和5（2023）年で創立80周年を迎えます。昭和18（1943）年に「徳島県立徳島医学専門学校」として設立され、昭和24（1949）年には四国で初めての国立大学医学部となり80年の歴史を刻んできました。しかしながら徳島における医育機関の歴史はもっと古く、幕末から明治にかけて活躍された高名な蘭方医である関寛齋先生が中心となり明治3（1870）年に設立された徳島藩立医学校に端を発します。関寛齋先生は長崎で医学を学び徳島藩蜂須賀家の典医になられています。戊辰戦争で官軍の奥羽出張病院長として敵味方の別なく治療に当たられ、その精神は赤十字精神の先駆とされています。戦後は徳島で開業医として長く活躍され、貧しい方々への無料診療から「関大明神」と呼ばれていたようです。

徳島大学医学部の初代医学部長は、徳島大学の初代学長も務められました中田篤郎博士です。徳島大学医学部の基礎 A 棟の前には医学部創設に多大な貢献をされた中田博士の碑があり、「学者如登山」の書が刻まれています。「学べば学ぶほど山に登るように視野・見識が広がっていく」という意味です。昨年秋の蔵本祭でライトアップされた中田博士の碑がある中庭の写真を掲載します。ぜひ一度足を運んでいただき徳島大学医学部創設時に思いを馳せるとともに、徳島大学医学部で学ぶ決意を新たにしていだければと思います。

医学部栄養学科（現在の医科栄養学科）は第2代学長を務められました兒玉桂三博士のご尽力で昭和39（1964）年に創設されました。医科栄養学科の正面玄関にある「食律生命」のレリーフは兒玉博士の書であり「食物こそあらゆる生命現象の基になっており、これを規定している。」という意味です。栄養の重要性を唱えられた医学者であった兒玉博士なくしては医学部に栄養学科が設置されることはなかったと言われています。医科栄養学科では高度な栄養学を担う管理栄養士、栄養学研究者・教育者の養成を目指しています。医学部保健学科は平成13（2001）年に徳島大学医療技術短期大学部を改組して設置されました。看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻の3専攻があり、幅広い教養と豊かな人間力を基盤として、保健学の高度な専門性と実践的な臨床能力を兼ね備えた看護師、保健師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師を養成することを目指しています。

徳島大学医学部が位置する蔵本キャンパスは、徳島大学病院に加え、歯学部、薬学部、先端酵素学研究所があり、生命科学に関係するすべての学部および施設が集まる一大拠点となっています。新入生の皆さんはこのような伝統のある、そして生命科学を学ぶ場として大変恵まれた環境にある医学部で学ぶことに自信と誇りを持って学修に励んでください。

新入生の皆さんが、この徳島大学医学部で有意義な学生生活を送り、次世代の医療界を支える医療人へと成長していくことを心から願っています。



中田篤郎博士の碑がある医学部前広場  
(令和4年蔵本祭)

### 目次

### CONTENTS

巻頭言	1	退職者ご挨拶	9
新入生の皆様へ	2	新任准教授紹介	10
先輩から医学部紹介	4	徳島医学会報告	11
学友会活動	5	第69回徳島大学解剖体慰霊祭	11
医学部行事予定	5	数字で見る医学部	12
蔵本祭開催報告	6	白衣授与・Student Doctor 認定証授与式	13
留学体験記	7	受賞者紹介（教員）	13
寄附講座紹介	8	受賞者紹介（学生）	14
共同研究講座紹介	8	編集後記	14
医学部教育支援センターによる国際化教育支援の現状	9		



## 医学科新入生の皆様へ

医学科長 橋本 一郎

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。難関の受験を突破して晴れて本学の医学生として大学生活を始めることにお祝いを申し上げます。コロナ禍において学習環境が整わない中で受験は大変だったでしょう。今年はずいぶん、アフターコロナの大学生活が始まります。はじめは制限があるかもしれませんが、注意事項を守りながら学生生活を満喫して下さい。

医学科の教育課程は、基礎医学教育と臨床医学教育に大きく分かれます。内科や外科といった診療や医療について学ぶのが臨床医学教育です。この臨床医学を学ぶ上で非常に大切なのが基礎医学であり、医師が他の医療関係者と比べて大きく違うのが、この基礎医学に関する知識の深さです。本学医学科では、基礎医学と臨床医学に関して講義室での授業だけでなく、様々

な工夫をして学習補助を行なっています。希望者は研究サークル活動であるLab部で基礎医学研究が可能で、MD-PhDコースに進学して卒業前に医学博士を取得することもできます。医学研究実習では好きな研究室を選んで医学研究を行います。臨床医学に進むと、症例シナリオを使用して自己決定型学習を行うPBLチュートリアルや充実した臨床実習を用意しています。コロナ禍で中止されていた短期留学プログラムも再開されるでしょう。

医学生にとって、医学学習は最も大切なことですが、大学時代は人間性を形成するのに重要な時期でもあります。クラブ活動やサークル活動を行ったり、趣味を深めたり、また新しいことに挑戦するのも良いでしょう。無限の可能性を秘めた皆様の過ごす6年間が、有意義であることを心から願っております。



## 医科栄養学科新入生の皆様へ

医科栄養学科長 二川 健

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。新年度からは、長かったコロナ禍による行動制限の時期がようやく終りを迎え、これまで通りの“普通”の大学生活をおくれるのではないのでしょうか。本当によかったと思います。存分に大学生活を楽しんでください。

医科栄養学科は2014年に、前身の栄養学科は1964年に設立されましたので、来年は医科栄養学科、栄養学科はそれぞれ設立10周年と60周年という節目の年となります。医科栄養学科棟の入り口付近で“食律生命”と記された文字が目に入ります。これは、栄養学科設立で尽力された児玉桂三学長が食は生命や健

康の根幹であることを説いたもので、栄養学を学ぶこと、栄養学研究の重要性を示したものです。その精神を受け継ぎ、徳島大学医学部医科栄養学科は、徳島大学の中でも小さな学科ですが、“医学を基盤とした栄養学の大切さ”を、日本だけでなく世界に発信し続けております。

新入生の皆様は、コロナ禍の高校生活でできなかったことにぜひチャレンジしてください。そして、全国いや全世界で活躍できる素養を身につけてください。私事ですが、私は退職まで4年です。最後のご奉公と思い、学科長を引き受けました。4年後皆さんと笑って徳島大学を卒業できるように一緒に頑張っていきましょう!!



## 保健学科新入生の皆様へ

保健学科長 森 健治

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。保健学科の教員ならびに在学生一同、ご入学を心よりお慶び申し上げます。この3年の間、COVID-19感染症が蔓延し、様々な困難な状況の中であっても、一生懸命、受験勉強に励まれてこられたことと思います。皆さんの学生生活が安心で、より充実したものとなるように、教員一同心を尽くしてサポートしていきたいと考えております。少しでも不安なことがありましたら、気軽にご相談ください。

保健学科は、徳島大学病院の隣に位置しており、実習においても、ほとんど大学病院を中心に行われます。高度な医療の実践の場を間近で見聞きし、経験することにより、医療人と

して生きていくための意欲が刺激されることと思います。また、この蔵本キャンパスには、医学部、歯学部、薬学部の医療系3学部が集まっています。医学部には、医学科、医科栄養学科、保健学科の3学科があり、保健学科内には、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻3専攻があります。これらの学内他部局との共同教育の推進により、将来医療に携わる人間として、チーム医療・多職種協働に貢献できる人材を育てることを目標に掲げています。学業のみならず、サークル活動などを通して、他学部の人と交流することで、人間関係力を構築していくことも大切なことであるといえます。新しい学生生活がもうすぐそこに。私たちは、皆様の明るい未来をより良いものにできるように応援していきたいと思っています。

## 新入生の皆さんへ



医学部4年次 榎本 侑生

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。とうとう苦しかった受験勉強を終え大学生活のスタートですね。

大学では高校までと異なり、自由な時間が一気に増えます。そんな大学生活において「チャレンジする」ということを

皆さんに心掛けてもらいたいです。小学生、中学生、高校生、「大学生」。私たちは卒業すると社会人です。学割で安く映画が見られるのはこれで最後です。今まで使えた学生の特権が使えなくなるのは寂しいですね。ただし、学生の特権は学割だけではありません。「チャレンジできる」というのも学生だからこそできることだと思います。もちろん大人になっても挑戦することは不可能ではないです。ただし、働きながら新しいことを始めるのは大変ですし、失敗した時の責任も伴います。ただ、学生は違います。何かを始めるための多くの時間があり、例えば失敗したとしても「学生だから」で認めてもらえ、「学生が頑張っているから」という理由でプロフェッショナルの人にただで教えを乞える（大人になると（多分）お金がかかります）、この最後のチャンスが大学生なのではないかと思います。ですから、ぜひ、皆さんには何かやりたいと思うことがあるのなら今のうちに積極的に行ってほしいです。そして色々な場所に出向き、たくさんの人と出会い、多様な価値観を身に付けてもらいたいと思います。

大学生である今しかできないことを存分に楽しみましょう！

## 医科栄養学科4年次 北川明日香



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからどんな大学生活にしたいと思っているのでしょうか？

せっかくの大学生活ですから、充実したものにしたい人も多いのではないかと思います。充実の定義は人それぞれですが、どんな大学生活にしたいと思ってもそれを実現させるにはとにかく「行動すること」が大切です。私自身、自分を成長させる4年間にしたいと思い、ボランティア団体のリーダーや長期インターンシップなど、本当に様々なことに挑戦しました。挑戦には勇気や労力が必要ですが、同時にたくさんの人や価値観などとの出会いがあります。挑戦のハードルを超えた先で見える景色は、想像以上に自分に刺激を与えてくれ、思ってもいないような世界が広がります。時には失敗を恐れて一歩踏み出せないときもあるかもしれません。しかし、失敗は自分を強くします。誰しもうまくいかなかったことから学び、次に生かしてパワーアップしていくものです。失敗を恐れて挑戦しないより、うまくいけばラッキー程度に思って思う存分やってみる方がいい未来が待っていると私は思います。

今後、コロナ禍による様々な制限のようにいつ何が私たちの身に降りかかってくるはわかりませんが、環境に嘆き振り回されるのではなくそれをどう捉え、どう行動するかによって充実度合いは天と地の差になり得ます。

はっきりとした目標が無くても大丈夫です。勉強はもちろん、部活動やサークル、学外活動や友達との時間。どんなことでも、どんなに小さなことでもいいと思います。自分の“いいな”と思うものを信じてトライしてみてください。ふと思いたったその瞬間がチャンスです。やらない後悔よりやる後悔をおすすめします。みなさんにとって素敵な日々になりますように。



保健学科看護学専攻4年次 福池 夏実

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学入試を乗り越えられて、これから始まる大学生活への大きな期待や不安など様々な心もちでおられることと思います。本専攻では、4年間の勉強

を通して看護師の資格をはじめ、保健師、養護教諭、さらには大学院に進むことで助産師の資格を得ることができます。また実習では、現在コロナ禍で接触に制限がある中ではありますが、そこで出会う患者さんとの関わりはとても有意義で、専門的な知識や技術の学びを得る機会となります。困難なことも多々あると思いますが、4年間は一瞬で過ぎ去ってしまうため、勉強のみならずアルバイトやサークル活動など、視野を広げて様々なことに挑戦してみてください。皆さんの大学生活が充実したものになることを願っています。

## 保健学科放射線技術科学専攻4年次 田中真保子



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大変な受験生活も終わり、これから始まる大学生活に夢と期待に胸を膨らませていることと思います。

本専攻では、1、2年生のうちは自由な時間が取れ、3、4年生になると専門科目や実習が忙しくなります。コロナ禍ということもあり、これから始まる新生活に不安があるとは思いますが、大学生活は一瞬で過ぎ去ります。勉強はもちろん大事ですが、部活動やアルバイト、趣味を充実させることも大学生活をより豊かなものにしてくれると思います。困ったことがあれば先生や先輩、友達が親身に相談に乗ってくれるので、たくさんの方に挑戦してください。

皆さんが素晴らしい4年間を過ごせることを心より願っています。

## 保健学科検査技術科学専攻4年次 高橋 稜奈



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

未だ新型コロナウイルスの影響が続く中、大学受験を乗り越え、新たに始まる大学生活に希望や不安を抱いていること

と思います。

本専攻は、1年は主に一般教養科目、2年から主に専門科目といったカリキュラムとなっており、1、2年は比較的自由な時間があります。これからの4年間は、勉強はもちろんですが、交友関係を広げたり、趣味や部活動、アルバイトなどを思い切り楽しめる最高の機会です。しかし、受動的ではすぐに4年間が過ぎ去ってしまいます。少しでも興味があることは悩まずどんどん挑戦してみることをお勧めします。

皆さんがたくさん学び、楽しみ、かけがえのない大学生活となることを心から願っております。



# 先輩から医学部紹介

🌸🌸🌸 新入生のみなさんご入学おめでとうございます 🌸🌸🌸

## 講義について

医学科4年次 姜 泰成

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私からは1年生の講義内容について話させていただきます。1年生の科目には、「教養科目」と「必修科目」の二種類があります。教養科目には「歴史と文化」、「生活と社会」といったテーマの中で自分が興味のある科目であったり、面白そうだと思った授業を選択して受講できます。他にも、高校時代に履修していない科目の知識を得るための基礎基盤教育科目群などもあります。語学に関しては、英語や中国語にドイツ語、フランス語を選択して学ぶことができるので、留学などを考えている方にとってはいいかもしれません。次に、必修科目について話します。必修科目は大学からあらかじめ受けることが決められている科目で、医学科の1年生なら「基礎生物学」など各学科の特徴を示すような科目で、2年生、3年生になっても必要なものとなるので、力を入れて取り組むことをお勧めします。



最後に、学生生活について少し話して終わりにしたいと思います。大学生活は高校生活に比べて、圧倒的に自由で、また使える時間も多くなります。一度しかない大学生活なので、思いっきり遊ぶのもいいと思います。しかし、卒業し、社会人になって、あれを勉強していけばよかったなんて思うことはできるだけ少なくありたいものです。今の自分にとって本当に必要なものは何か考え、社会に出た時に後悔のない学生生活だったと胸を張って言えるよう過ごしていただけることを心から祈っています。

## 部活動・サークル活動について

医科栄養学科4年次 濱田 侑希

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。私からは部活動・サークル活動について紹介します。

徳島大学には様々な部活動・サークル活動があります。気になる活動が蔵本 or 常三島キャンパスにしかない！という方、心配ありません。どちらのキャンパスの部活動・サークル活動にも参加できます。他学部の学生が多い活動に参加すれば多様な考え方に触れたり人脈を広げたりすることができます。反対に、自分と同じ学部学科の先輩が多い活動に参加すれば先輩・後輩の縦のつながりを作り、講義の選び方や勉強の仕方、進路に至るまで先人の知恵と経験を借りることが



できます。私は中学・高校より自由度が格段に高い大学生活において情報収集は何よりも重要だと考えています。自分の進む先の情報を集めるためにも、縦と横のつながりを作っておくことをお勧めします。

そもそもどんな活動に参加すればいいのかよくわからないという方は、まず新歓イベントに参加してみてください。特に合同新歓では一度に複数の活動の話聞くことができるので何をしようか悩んでいる方にお勧めです。魅かれる部活動・サークル活動があれば見学に行ってみましょう。内部の雰囲気を知ったり先輩から直接話を聞いたりすることで自分に合うか考えてみると良いと思います。

部活動・サークル活動で出会う人はこれからの大学生活を豊かにしてくれることでしょう。様々な活動を通して良い出会いがあること、あなたの大学生活がより豊かで楽しいものになることを願っています。



## 大学生協について

保健学科看護学専攻4年次 出崎世奈

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私からは大学生協について紹介させていただきます。

徳島大学蔵本キャンパスには、食堂の「キッチンSAKU-LA(さくら)」、コンビニの「RAKU-LA(らくら)」、文房具や教科書などを取り扱う「SHOKO-LA(しょこら)」、カフェテリアの「KURA-LA(くらら)」の4つの店舗があります。「さくら」、「らくら」、「しょこら」の3店舗は、テニスコート横の蔵本会館にあり、「くらら」は医学基礎A棟1階医学部学務課前に位置しています。

「さくら」は平日8時から19時まで営業しており、栄養満点の食事を手軽にとることができ、種類豊富なメニューが揃っています。週替わりのメニューや全国各地の料理を楽しむフェアがあり、飽きることなく利用することができます。

「らくら」では、食料品、雑貨が販売されています。特に軽食やお菓子の品揃えが充実しており、季節ごとのお菓子やパン類など講義や勉強の合間にぴったりの商品が沢山あります。

「しょこら」では、講義で使用する教科書や参考書、問題集、文房具等を購入することができます。そのほかにも、自動車教習所の申し込みや、帰省の際のバスの申し込み、旅行の手配なども行っています。

「くらら」では、温かいお弁当や飲料、お菓子等が販売されています。向かいにあるカフェテリアスペースを利用している学生も多く、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

簡単ではありますが、大学生協が運営する4つの店舗について紹介させていただきました。大学生協は大学生活をより充実したものにしてくれます。ぜひ、新生活のスタートに際し、大学生協を活用してください！



## 学友会活動

### 運動部

	クラブ名	助言・指導教員		クラブ名	助言・指導教員
1	水上競技部(男女)	内田 貴之	10	バスケットボール部(男女)	吉川 幸造
2	弓道部(男女)	秦 広樹	11	合気道部(男女)	岩佐 武
3	硬式野球部	橋本 一郎	12	硬式庭球部(男女)	高木 康志
4	柔道部	和泉 唯信	13	軟式庭球部(男女)	森 健治
5	空手道部(男女)	和泉 唯信	14	陸上競技部(男女)	米村 重信
6	卓球部(男女)	西岡 安彦	15	準硬式野球部	島田 光生
7	バドミントン部(男女)	西岡 安彦	16	ラグビー部	田中 克哉
8	サッカー部	高橋 章	17	剣道部(男女)	久保 宣明
9	ゴルフ部(男女)	橋本 一郎	18	バレーボール部(男女)	岡久 稔也

### 文化部

	クラブ名	助言・指導教員
1	軽音楽部	橋本 一郎
2	茶道部	竹谷 豊
3	地域医療研究会	山口 治隆
4	栄養学研究部	酒井 徹
5	外国語研究会	西良 浩一
6	室内楽同好会	赤池 雅史
7	TIFMSA(徳島国際医学生連盟)	赤池 雅史
8	先端医療研究会	佐田 政隆
9	IAHSS(保健学科国際交流サークル)	田中 祐子

※入部等のお問合せについては、医学部学務課学生係 ☎088-633-7982)へご連絡ください。

### 医学部行事予定 (令和5年4月～令和5年9月) ※変更となる可能性があります

4月3日(月)～11日(火)

医学部新入生オリエンテーション  
SIH道場～アクティブ・ラーニング～  
(医学科、医科栄養学科、保健学科)

4月10日(月)～28日(金)

学生定期健康診断

4月12日(休)

新入生授業開始  
(医学科、医科栄養学科、保健学科)

5月実施 遺骨返還・感謝状贈呈式

8月～(予定) 西日本医科学生総合体育大会 (代表主管校：大阪大学)

8月実施 徳島大学オープンキャンパス (学部説明会)



# 蔵本祭開催報告

## 輝け！蔵スター

第38回蔵本祭実行委員長 医学科5年次 中井 洸 我

第38回蔵本祭実行委員長を務めさせて頂きました、医学科4年の中井洸我と申します。今回最もお伝えしたいことは、蔵本祭は「蔵本の蔵本による蔵本のための祭」であるということです。私たちは3年ぶりの蔵本祭の開催であったため、過去の蔵本祭を完全に踏襲するのではなく、これまでの当たり前を見直し、新たに5W1Hを設定しました。

Who	What	When	Where	How
すべての蔵本人 徳島大学、大学病院に関わる全ての人（患者さん、地域住民も含む）	参加型エンタメ 見るだけを極力防ぎ、参加者も巻き込むコンテンツ作りをする。	恒例時期 そろそろ蔵本祭の時期かと思ってもらえる文化づくりをする。	蔵本地区全体 Whoの達成のため、運動場だけで行うのではなく、キャンパス全体を彩る。	感染対策の徹底 継続のためにもクラスターは絶対に起こさない。

特に注目して頂きたい箇所はWhoで、蔵本祭は学生のものではなく、徳島大学で働く職員の方や病院で働かれる先生方、そして患者さんや地域の方のための文化祭でもあるということです。感染対策や実現可能性の観点から実現できなかったのですが、例えば病院でホスピタルアートを行うアイデアや蔵本祭の様子を入院中の患者さんに届ける取り組みなどを考えていま

した。ただ、現実問題として今年は学生をコアターゲットに盛り上げないと中途半端に終わるという危機感から学生向けのコンテンツを重視し、他の誰もが楽しめるという要素は大学を装飾することで達成を試みました。お陰様で地域の方々にもご来場いただき、職員や先生方からも装飾を楽しんで頂きました。最後になりますが、蔵本の蔵本による蔵本のための祭と一緒に盛り上げて下さった200名を超える実行委員、学務の皆様、先生方に深く感謝申し上げます。



## 栄養学展

第38回栄養学展委員長 医科栄養学科4年次 小林 美 咲

栄養学展は、医科栄養学科の学生が、毎年一つのテーマを考へ、テーマに合った展示をしたり、料理を無料で提供したりする、蔵本祭恒例のイベントです。

令和4年度の蔵本祭では、「地中海食」をテーマに、サバのアクアパッツァを主菜としたお弁当を提供しました。地中海食はイタリア、ギリシャなど地中海沿岸の国の伝統的な料理で、心疾患やがん、肥満等の発症を予防する効果があるとされています。

当日は、多くの方に足を運んでいただきました。普段講義や実習で学んだことを活かし、多くの方に喜んで頂ける良い機会

となりました。これからも医科栄養学科の名に恥じない活躍ができるよう、日々勉学に励みたいと考えています。

最後に、栄養学展にご来場いただいた皆様、栄養学展委員と実行委員の方々、ご協力いただいた先生方に心より御礼申し上げます。



## ステージ企画を終えて

第38回ステージ委員長 医学科5年次 家 氏 敬 人

ステージ企画は毎年、蔵本祭の中心として開催している企画で、例年多くの観客がいて盛り上がりを見せる企画になっています。



今年は3年ぶりの開催となりました。勝手がわからずじまいの中で、医学部、歯学部、薬学部から集まった後輩の皆さんをはじめとする実行委員の助けもあって成功を収めることができました。

企画としては、医軽音のライブ、実行委員企画、じゃんけん大会、ビンゴ大会、ダンスパフォーマンス、蔵本スターコンテストとたくさんの企画を運営できてどれも盛況でした。

最後になりますが、蔵本祭のステージを運営する支えとなっていた学務の皆さんをはじめとする方々、その他機材を貸与して下さった商店街の方やOBの先生方に深く御礼申し上げます。

## 学内装飾を終えて

第38回装飾委員長 医学科4年次 竹 原 優

コロナ禍での開催となった今年の蔵本祭では、例年以上に学内に彩を加え、蔵本キャンパス全体で盛り上がりたいたいという思いのもと、新しく装飾委員が発足しました。装飾委員ではグラウンドの装飾や夜間に学内でイルミネーションを行ったり、ナイトシアターを行いました。特にイルミネーションは多くの学生や教員の先生方から反響があり、大盛況に終えることができました。

全てが初めてで、まさに暗中模索の中の実施でした。そんな中、医学部、歯学部、薬学部から集まってくれた実行委員の協力のもと、無事最後までやり切ることができました。

最後になりますが、はじめての取り組みに協力して下さった全学部の学務のみならず、イルミネーションを快く貸して下さった総合科学部の平木先生、心温まる応援メッセージをくださったOBの先生方に深く御礼申し上げます。



# 留学体験記



## サンパウロ大学

医学科5年次 LIMEISA

2022年の7月に約2週間ブラジルのサンパウロ市にあるサンパウロ大学の Winter Schools Program に短期留学させていただきました。私は第一志望の Trauma and Acute Care Surgery コースに所属していました。

主にサンパウロ大学病院の ICU、ER や手術室を見学しました。毎朝コース担当の Robert 教授から紹介された実際の症例



を皆でディスカッションし、その後入院中の患者をお見舞いし症例について詳しく教えて頂きました。それ以外にも腹腔鏡の練習や解剖実習もあり、ヘリコプターで搬送された患者も見ました。ブラジルでは銃創や刺創など日本に珍しい症例が多く、日本にない医学の一面を学べて刺激になりました。

プログラムに世界中から医学生が参加し、週末に皆でサンパウロ市を観光しました。様々な国籍な人と出会い、各国の医療事情に関心を持つようになったので将来より世界中の人々の健康に貢献できる医師になるように励みたいと思います。

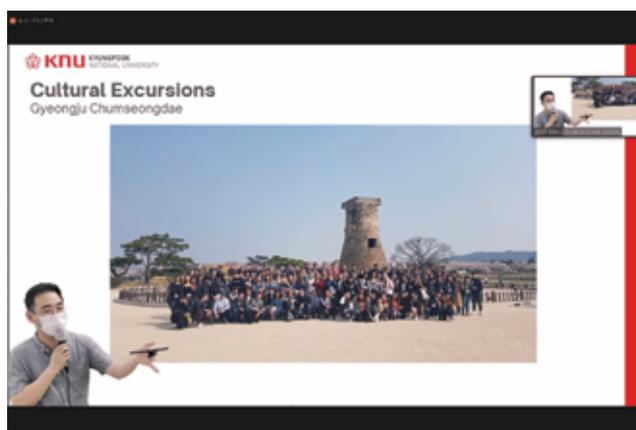
最後に、今回の留学を支えてくださった医学部や皆様に御礼を申し上げます。



## 慶北大学 (オンライン留学)

医科栄養学科3年次 齋藤奏羽

私は1年生の夏休みを利用し、韓国の慶北大学のオンライン留学に参加しました。二週間の日程で、韓国の文化や基礎的な韓国語を学びました。授業や説明などは基本的に英語で行われたため、韓国語だけでなく英語のリスニング力や理解力も鍛えられたように思います。私が最も印象に残ったのは、韓国の学生の方々の英語やプレゼンテーションのレベルの高さです。そして、留学生の積極性にも刺激を受けました。この留学を通し、韓国の文化により興味を持ち、韓国語だけでなく英語学習の意欲も向上しました。日本にいながら留学を経験でき、非常に有意義な時間となりました。今後、機会があったら実際に海外留学を経験したいと思います。



## 南イリノイ大学 (オンライン留学)

保健学科看護学専攻4年次 青山早恵

自分自身の視野を広げたいという思いから、GRIP (Global Person Resources Intensive Program) の一員として、2年後期の半年間オンライン留学に参加させて頂きました。

看護学専攻の2年後期は大学の授業も多く、病院実習もあり、本来なら留学など行けるはずもなかったのですが、コロナ禍でオンラインでの留学ができるようになったことで叶った時間でした。海外との時差があるため、昼に大学の授業や実習、夜に

留学といった生活をしていました。

様々な交流の中で刺激を受け、国境を越えて友人ができ、英語の能力を高めるだけではなく、自分自身の財産となる経験ができました。

声をかけてくださった清藤先生をはじめ、貴重な機会を与えて下さりサポートして下さった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 寄附講座 地域呼吸器・血液・代謝内科学分野 紹介

大学院医歯薬学研究部地域呼吸器・血液・代謝内科学分野  
特任教授 埴淵 昌毅 特任講師 倉橋 清衛

「地域呼吸器・血液・代謝内科学分野（Community Medicine for Respiriology, Hematology and Metabolism）」は、令和4年4月1日に開設された高松市からの寄附講座です。既に高松市からは「地域消化器・総合内科学分野」、「地域循環器内科学分野」の2つの寄附講座が設置されており、高松市立みんなの病院を拠点として消化器内科領域および循環器内科領域について研究・教育・診療活動の取り組みが進んでいます。

その一方で近年の新型コロナウイルス感染症をはじめとした呼吸器感染症領域、急速に進む高齢化社会に必要とされる老年病領域での内科医不足は深刻であり、これらの内科領域をカバーする呼吸器内科医、血液・内分泌代謝内科医の充足が喫緊の課題となっていました。

このような課題を解消するとともに、地域医療をサポートする目的で寄附講座として誕生したのが「地域呼吸器・血液・代謝内科学分野」であり、埴淵 昌毅 医師が特任教授として、倉橋 清衛 医師が特任講師として着任し、活動を始めています。

高松市立みんなの病院は、高松市民病院が平成30年9月に高松市仏生山町の地に新築移転された病床数305床の地域医療の中核を担う総合病院です。今後は微力ではございますが、母教室である徳島大学呼吸器・膠原病内科学分野および血液・内分泌代謝内科学分野と連携して診療活動を行うとともに、高松市

地域において医学生・研修医および専門的診療能力を有する医師の育成を行い、呼吸器疾患や内分泌・代謝疾患の病態解明および治療に関する研究に取り組みたいと考えております。

当講座の活動につきましてご理解いただきますとともに、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 共同研究講座 微生物防除研究分野 紹介

大学院医歯薬学研究部微生物防除研究分野

特任教授 高橋 章(併任) 特任講師 馬 渡 一 諭(併任)  
特任助教 上番増 喬(併任) 特任助教 石 田 快  
教務補佐員 石 川 寧 子

外部機関等共同研究員

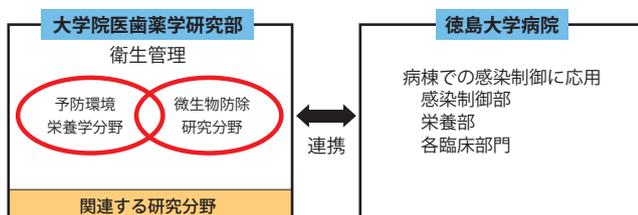
山内 繁 晴 斧田 優 志 田中 智 毅  
藤川 康 夫 相澤 俊 彦

発光デバイスの進歩等により、一般生活の住居空間における環境光が劇的に変化しています。特に、特定波長の強い放射束の光（ナローバンド光）が比較的容易に利用できるようになり、ヒトの生活空間に共存している微生物等に影響を与えることが徐々に判明しています。このため光環境の危険性が指摘されていると同時に、その有効利用の可能性も指摘されています。

現在光による生物効果に関する検討が活発に行われていますが、点光源や面光源の違い、ナローバンド光でも波長成分の違いなど、それぞれ異なる光や方法が検討に用いられています。光による生物効果を応用した衛生管理法を発展させていくうえで、世界標準となりうる光生物影響の検討方法を確立することが至急の課題と考えられます。

そこで、光デバイスを開発している日亜化学工業株式会社と大学院医歯薬学研究部予防環境栄養学分野が中心となり、共同研究講座“微生物防除研究分野”を大学院医歯薬学研究部に設置しました。

微生物防除研究分野では、各波長のナローバンド光ごとの、生物活性を明確にして標準化を図ります。そして各波長の光を用いた生物効果を応用し、食品や水などに混入する衛生管理法の標準化を目指しています。さらに微生物管理にかかわる学生・管理栄養士の教育、社会教育や普及を目指しています。



# 医学部教育支援センターによる国際化教育支援の現状

医学部教育支援センター長(兼)教務委員会委員長 常山 幸一

医学部教育支援センターは医学科教務委員会、医学部学務課第一教務係、医療教育開発センターと連携・協力し、医学教育プログラムの立案や導入、データ収集や分析、改善の推進など医学教育全般を支援しています。医学研究実習やPBLチュートリアル、臨床実習や共用試験など多くの支援業務を担当しており、国際化教育支援も重要な業務の1つとなっています。

2022年10月に医学英語教育担当特任技術員として伊東朋子さんが着任されました。伊東さんは英語圏での長期就労やJICAの海外医療技術協力支援事業のサポート、留学プログラムのコーディネートなど国際活動の経験が豊富であり、それを活かして各種英語試験の対策や面接練習、留学プログラムの応募や

書類の添削、英語学習に対する個別相談、学生スタッフが中心となって運営されているサークル活動(English+など)への助言など、センターの国際化教育支援業務を幅広くサポートしてくれています。英語や留学、国際化教育に興味がある学生さんや教員の皆様も気軽に相談していただければと思います。

ポストコロナ時代を見据えて徐々に様々な留学プログラムも再開しており、センターでも外部のゲストスピーカーによる国際医療に関するイベントの開催など新しい試みを計画中です。国際化教育の推進に関するアイデアがありましたらぜひセンターまで情報をお寄せください。



## 退職者ご挨拶



### 顕微解剖学分野 教授 鶴尾 吉宏

令和5年3月31日をもちまして、定年退職いたしました。平成27年2月1日に顕微解剖学分野の教授として赴任してから8年2か月の間、解剖学の領域において教育と研究に貢献できますように努めてまいりました。徳島大学医学部を卒業後、解剖学第二講座、解剖学第一講座(現在の顕微解剖学分野)における助手、助教授としての10年4か月の期間を含めると、計18年6か月の長い期間にわたって、徳島大学において解剖学を中心に仕事をさせていただきました。教育では顕微解剖から肉眼解剖までの広

範囲でしかも理解が難しい解剖学領域の内容について、出来る限り分かりやすい講義と実習を行うように工夫してきました。また図書館長や医学部学生委員長として大学の組織運営にも貢献してきたつもりです。徳島大学で学んだ若い医学生の将来のご活躍に少しでもお役に立てたなら幸いでございます。長年にわたり徳島大学医学部の皆様のご厚誼ならびにご支援を賜りましたことに、改めて心から感謝を申し上げますとともに、徳島大学医学部の益々のご発展を祈念して、退職のご挨拶とさせていただきます。



### 予防医学分野 教授 有澤 孝吉

令和5年3月31日をもちまして、予防医学分野教授を定年退職いたしました。平成16年3月16日の着任以来、長い間たいへんお世話になりました。任期中、教育面では医学部3年生の予防医学・公衆衛生学の講義、研究面では、前半は環境省関連のダイオキシン類の人への蓄積量調査、後半は生活習慣病予防に関する研究(日本多施設共同コホート[J-MICC]研究徳島地区調査)を中心に活動させていただきました。

19年間あっという間に過ぎたような気もしますが、最初の頃に講義を受けた学生さんが現在は中堅となって働いており、それなりの時間が過ぎたのだと気づかされます。今後の予定は未定ですが、少しでも社会貢献できるように努力して行きたいと思っております。徳島大学医学部の今後益々の発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



### 血液・内分泌代謝内科学分野 教授 安倍 正博

令和5年3月末をもちまして定年退職いたしました。血液内科および内分泌代謝内科の両診療科の教育、研究、診療におきまして、医学部の皆さま方から長年にわたるご厚情とご支援を賜りまして、心から感謝申し上げます。私は徳島大学の卒業で、卒業後、当時の第一内科に入局し、関連病院での勤務と留学期間を除き、学生時代を含め長きに渡り徳島大学でお世話になりました。学生時代に経験した自由奔放で、ある意味学生が放置された教育から、学生参加型の教育への変革、特にファカルティ・ディベロップメントの取り組みには教育の大きな転換を感

じると共に、一方で学生の自由な発想を醸成し個性を伸ばすことへの目配りの必要性も感じました。最後は新型コロナウイルスの影響で対面での教育が分断されましたが、医療職は人とのつながりを生業とする職業ですので、人と人とのつながりを大切に、他人に対する思いやりのある、人として優れた医療人、研究者が徳島大学からさらに多く育成されることを期待しております。今後益々の徳島大学医学部のご発展を祈念して、退職の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



### 泌尿器科学分野 教授 金山 博臣

令和5年3月末をもって泌尿器科学分野教授を定年退職いたしました。平成16年4月から19年間にわたり、教育、研究、診療に従事するとともに、教室運営、医学部運営、病院運営、大学運営に関わらせていただきました。医学部の教員および事務の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼を申し上げます。教育に関して、最後の3年間はコロナにより学生に思うように接することができず申し訳なく思います。診療に関しては、大きな変化がありました。開腹手術から腹腔鏡手術、ロボット支援手術へとイノベーションの連続であり、積極的に取り組みまし

た。ロボット支援手術は全国的にもいち早く導入し普及させることができ、多くの関連病院にも導入されました。現在は泌尿器科以外の診療科にも導入され普及しています。また、小児泌尿器科、女性泌尿器科、腎移植も導入・充実させることができました。今後さらに発展するものと期待しています。医学・医療を取り巻く環境は日々変化していますが、徳島大学医学部がその変化を取り込みながら益々発展することを祈念し、退職の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



### 細胞・免疫解析学分野 教授 細井 英司

令和5年3月31日をもって細胞・免疫解析学分野の教授を定年退職いたしました。平成2年4月1日に医学部保健学科の前身である医療技術短期大学の助手として赴任して以来、33年間、大変お世話になりました。この間、医療の進歩は目覚ましく、臨床検査へのニーズも多様化・専門化し、医療現場における臨床検査技師の役割も大きく変遷してきました。臨床検査技師教育は、短期大学での3年制教育から4年制大学での教育、さらに大学院教育が行われるようになり、時代に即した臨床検査技師の輩出が求められています。この臨床検査技師教育に携われたことは、私の人生において充実した期間であっ

たと思います。また、研究ではいくつかの興味あるテーマを進めてきましたが、特に血液型糖鎖抗原や細胞内カルシウムシグナル伝達機構に関する基礎的研究を進めることができ、この分野において貢献できたと思っています。今から思うと、あっという間でしたが、有意義な時間を持つことができました。この間、多くの方にご協力いただきました。有難うございました。

最後になりますが、医学部の皆さまの長年のご厚情とご支援に心から感謝申し上げます。徳島大学医学部の益々の発展を祈念して、退職の挨拶とさせていただきます。

## 新任准教授紹介



異動年月日	異動内容	氏名	所属
R 4. 12. 1	昇任	佐藤 豪	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
R 5. 3. 1	昇任	松井 尚子	臨床神経科学

# 徳島医学会報告

## ■ 第266回徳島医学会学術集会(令和4年度冬期)

薬理学分野 教授 池田 康 将  
皮膚科学分野 教授 久 保 宜 明

第266回徳島医学会学術集会は、令和5年2月12日(日)に徳島県医師会館において開催された。今回の大学側の担当は、薬理学分野 池田康将教授、皮膚科学分野 久保宜明教授が務めた。前回同様、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する感染対策を講じての開催となった。そのため現地開催は最小限の参加者とし、県医師会ホームページからWeb同時配信も行いハイブリッド開催とした。ポスター発表は、県医師会ホームページ上でのオンデマンド形式発表のみとして、徳島医学会賞および若手奨励賞の審査が行われた。会場では教授就任記念講演として、キャンパスライフ支援センター保健管理部門 曾我部正弘教授に「逆流性食道炎に関する研究と医療機器研究開発の経験」、実践地域医療・医科学分野 新家崇義特任教授による「PETを用いた肺癌画像診断と今後の展望」、腎臓内科学分野 脇野修教授による「糖尿病性腎症から慢性腎臓病治療への新規治療戦略」をご講演いただいた。西岡安彦医学部長、齋藤義郎県医師会会長のご挨拶の後、第49回徳島医学会賞および第28回若手奨励賞授与式が行われ、引き続き徳島医学会賞受賞記念講演として、徳島大学大学院医歯薬学研究所脳神経外科学 山口真司先生による「エストロゲン欠乏ラットのER $\alpha$ およびSirt1の低下に伴うNLRP3/IL-1 $\beta$ /MMP-9経路の活性化と脳動脈瘤破裂との関連」、徳島県立海部

病院 内科・総合診療科 前田悠作先生による「徳島県立海部病院でのICTを駆使した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療」をご講演いただいた。続いて、合同シンポジウム「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の現状と対策」では、徳島大学病院 感染制御部 東桃代部長に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の現状と対策」を、徳島県保健福祉部 感染症・疾病予防統括監 鎌村好孝先生に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の現状と対策 in 徳島」を、徳島大学大学院医歯薬学研究所救急集中治療医学分野 大藤純教授に「重症コロナ診療の現状」を、医療法人平成博愛会 博愛記念病院 大申文隆院長に「当院におけるコロナ後遺症外来の現状と課題」をご講演いただいた。また、皮膚科学分野 仁木真理子助教が「COVID-19感染症でみられる皮膚病変」を、薬理学分野 船本雅文助教が「COVID-19と心疾患」を講演した。以上、徳島県における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する最新情報、医療活動ならびに医学研究について大変学びの多い学会となった。

本学術集会の開催にあたり、徳島県医師会、徳島医学会事務局、関係スタッフの皆様およびご参加、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

(文責：薬理学分野 教授 池田康将)



## 第69回 徳島大学解剖体慰霊祭



令和4年10月26日(水)15時から徳島大学大塚講堂において、第69回徳島大学解剖体慰霊祭が開催され、御遺族、白菊会会員、医学部・歯学部・病院教職員、学生等関係者約200人が参列いたしました。献体者の霊に黙祷を捧げた後、医学部長、歯学部長をはじめとする関係者が追悼の辞を述べ、その後参列者全員が祭壇に白菊を献花し、系統解剖、病理解剖のために献体して下さった方々の亡き御霊6737柱の御冥福をお祈りしました。献体運動等の活動により献体に対する世間の理解が、ますます深まってきております。今後も引き続き献体に対するご理解とご協力をお願いいたします。

蔵本事務部医学部学務課

# 数字で見る医学部

～令和5年3月 卒業者の進路状況～

R5.3 現在

医 学 科	
進 路 先	合計
愛知医科大学病院	1
上尾中央総合病院	1
渥美病院	1
阿南医療センター	1
飯塚病院	1
石川記念会 HITO 病院	1
伊勢赤十字病院	1
市立四日市病院	1
愛媛県立中央病院	1
大阪市立総合医療センター	1
大阪大学医学部附属病院	1
大阪医科薬科大学病院	1
大浜第一病院	1
岡山大学病院	1
岡山済生会総合病院	1
岡山協立病院	1
香川県立中央病院	2
加古川医療センター	1
桂病院	1
亀田総合病院	1
関西労災病院	1
京都医療センター	1
北播磨総合医療センター	1
近畿中央病院	1
倉敷中央病院	3
神戸市立医療センター 西市民病院	1
神戸大学医学部附属病院	3
神戸労災病院	1
公立福生病院	1
埼玉済生会加須病院	1
堺市立総合医療センター	1
三豊総合病院	1
静岡県立総合病院	1
静岡市立静岡病院	1
自治医科大学附属さいたま医療センター	1
自治医科大学附属病院	1
社会医療法人愛仁会 明石医療センター	1
社会医療法人愛仁会高槻病院	2
順天堂大学附属練馬病院	1
昭和大学病院	1
住友別子病院	1
高松赤十字病院	3
宝塚市立病院	2
多摩南部地域病院	1
千葉西総合病院	1
常滑市民病院	2
徳島健生病院	2
徳島県立中央病院	8
徳島市民病院	5
徳島赤十字病院	10
徳島大学病院	6
独立行政法人国立病院機構 相模原病院	1
名古屋徳州会総合病院	1
奈良県総合医療センター	1
西宮市立中央病院	2
西脇市立西脇病院	1
羽島市民病院	1
彦根市立病院	1
姫路赤十字病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	2
兵庫県立淡路医療センター	1
兵庫県立加古川医療センター	2
姫路聖マリア病院	1
福山市民病院	1
藤沢市民病院	1
船橋二和病院	1
北部地区医師会病院	1
松山赤十字病院	1

盛岡市立病院	1
吉野川医療センター	2
琉球大学病院	1
佼成病院	1
小 計	112
未定	3
小 計	3
合 計	115

医 科 栄 養 学 科	
進 路 先	合計
(株)タニタ	1
一般財団法人倉敷成人病センター	1
稻次病院	1
医療法人栄寿会 天満病院	1
エームサービス株式会社	1
オハヨー乳業株式会社	1
株式会社コロワイド MD	1
株式会社マルタイ	1
川崎学園 (川崎医科大学附属病院または川崎医科大学総合医療センター)	1
川崎市役所	1
きたじま田岡病院	1
神戸大学医学部附属病院	1
社会福祉法人 協同福祉会	1
すずき歯科	1
筑波記念病院	1
徳島県職員	1
徳島大正銀行	1
和歌山県立医科大学附属病院	1
医療法人 錦秀会	1
岡山赤十字病院	1
株式会社マリン大王	1
株式会社リノ	1
香川県庁	1
天満病院	1
日本食研ホールディングス株式会社	1
小 計	25
大 学 院 進 学	
岡山県立大学大学院	1
京都大学大学院	1
神戸大学大学院	1
徳島大学大学院	18
小 計	21
未定	5
小 計	5
合 計	51

保 健 学 科 : 看 護 学 専 攻	
進 路 先	合計
徳島大学病院	15
神戸市民病院機構 中央市民病院	4
京都大学医学部附属病院	3
徳島県職員	3
むつみホスピタル	3
徳島赤十字病院	2
あおぞら内科訪問看護ステーション	1
石井町	1
大阪大学医学部附属病院	1
大阪府大阪市	1
大阪府箕面市	1
大阪母子医療センター	1
岡山県倉敷市	1
岡山大学病院	1
香川大学医学部附属病院	2
北播磨総合医療センター	1
九州大学病院	1
京都市	1
倉敷中央病院	1
神戸大学医学部附属病院	1

西条中央病院	1
埼玉メディカルセンター	1
四国こどもとおとなの医療センター	1
東かがわ市役所	1
東みよし町	1
兵庫県立はりま姫路総合医療センター	1
兵庫県立病院	1
広島大学病院	1
福岡大学病院	1
福山記念病院	1
藤井寺市役所	1
松江赤十字病院	1
淀川キリスト教病院	1
小 計	58
大 学 院 進 学	
徳島大学大学院	6
香川大学大学院	1
小 計	7
未定	11
小 計	11
合 計	76

保 健 学 科 : 放 射 線 技 術 科 学 専 攻	
進 路 先	合計
徳島大学病院	1
徳島赤十字病院	1
徳島県職員	1
上尾中央総合病院	1
医誠会病院	1
医療法人 創和会 しげい病院	1
一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院	1
岡山大学病院	1
岡山西大寺病院	1
加古川総合保健センター	1
北野病院	1
京都市立病院	1
滋賀医科大学医学部附属病院	1
社会医療法人 緑泉会 米盛病院	1
社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院	1
たまき青空病院	1
土谷総合病院	1
徳島平成病院就職/徳島大学大学院進学	1
鳥取県保健事業団	1
屋島総合病院	1
小 計	20
大 学 院 進 学	
徳島大学大学院	7
神戸大学大学院	1
名古屋大学大学院	1
小 計	9
未定	8
小 計	8
合 計	37

保 健 学 科 : 検 査 技 術 科 学 専 攻	
進 路 先	合計
徳島大学	2
徳島県職員	1
北野病院	1
公益財団法人 甲南会	1
高知県職員	1
名古屋市立大学病院	1
日本赤十字社 和歌山医療センター	1
神鋼記念病院	1
小 計	9
大 学 院 進 学	
徳島大学大学院	5
岡山大学大学院	1
名古屋大学大学院	1
小 計	7
合 計	16

# 白衣授与・Student Doctor 認定証授与式

医療教育学分野 教授 赤池 雅史



令和5年1月10日、大塚講堂にて、医学科4年生112名を対象に、白衣授与・Student Doctor 認定証授与式が行われました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のために、参加者は学生および学内関係者に限定し、体調確認の上、記念撮影の時以外は常時マスク着用で実施しました。第一部では西岡安彦医学部長、香美祥二病院長、荒瀬誠治青藍会会長からのご挨拶と福田翔一さんの学生代表宣誓の後、代表である曹敏華さんをはじめ、学生ひとりずつに徳島大学病院のエンブレムが肩に刺繍された白衣を授与されました。この白衣は青藍会からのご寄贈によるものであり、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。さらに、第二部ではキャリア形成教育として、沼田周助先生（精神医学分野教授）と岩佐武先生（産科婦人科学分野教授）のご講演が行われました。

臨床実習前教育を修了し、CBT（コンピュータを用いて知識を評価する試験）とOSCE（シミュレーションによる臨床能力試験）による共用試験に合格した医学生は、全国医学部長病院長会議発行のStudent Doctor 認定証を授与され、4年次1月から卒業までに65週間のクリニカル・クラークシップ（診療参加型

臨床実習）を履修します。医師法の一部改正により、令和5年度からは共用試験に合格した医学生が臨床実習において医師の指導監督の下で一定範囲の医業を行うことが法的に認められることになりました。このような流れのなか、診療参加型臨床実習と初期臨床研修を軸に、卒前卒後教育のシームレス化をより一層推進していくことが求められています。



## ◆◆ 受賞者紹介 ◆◆

### 令和4年度岡奨学賞

Bui Thi Kim Ngan（予防環境栄養学分野 特任研究員）  
「ウイルス不活化における紫外線LEDの波長特異性と標的ウイルス分子の同定」  
※医学部および先端酵素学研究所において、基礎医学における研究成果が顕著な人を表彰する賞です。

### 第49回徳島医学会賞

山口 真 司（徳島大学大学院医歯薬学研究部脳神経外科学）  
「卵巣摘出ラットにおけるERαおよびSirt1の減少に伴うNLRP3/IL-1β/MMP-9経路の活性化と脳動脈瘤の破裂の関連」  
前田 悠 作（徳島県立海部病院 内科・総合診療科）  
「徳島県立海部病院でのICTを駆使した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療」  
※第265回徳島医学会学術集会（令和4年7月31日）において受賞者が選考されました。

### 第28回若手奨励賞

鈴木 杏 奈（徳島大学病院卒後臨床研修センター）  
「ソマトスタチン受容体シンチと静脈サンプリングで責任腫瘍の局在診断が可能であった腫瘍性骨軟化症（TIO）の一例」  
亀井 友 志（徳島大学病院卒後臨床研修センター）  
「重症筋無力症との鑑別を要したクッシング病の1例」  
※第265回徳島医学会学術集会（令和4年7月31日）において受賞者が選考されました。

### 医学部ベストティーチャー・オブ・ザ・イヤー2022

<b>医学科</b>	北 市 隆 (心臓血管外科学分野 准教授)	<b>医科栄養学科</b>	内 田 貴 之 (生体栄養学分野 助教)
	西 田 憲 生 (医療教育学分野 准教授)	<b>保健学科</b>	安 井 敏 之 (生殖・更年期医療学分野 教授)
	山 口 浩 司 (循環器内科 助教)		

※学生の投票に基づき選考される賞です。

### 医学部医学科ベストティーチャー・オブ・ザ・イヤー・イン・クリニカル・クラークシップ2022

**医学科** 上 野 義 豊 (救急集中治療部 助教)  
佐 村 高 明 (心臓血管外科学分野 助教)  
四 宮 加 容 (眼科学分野 講師)  
百 田 和 貴 (救急集中治療部 医員)  
山 田 直 輝 (精神科神経科 助教)  
※学生の投票に基づき選考される賞です。

### 令和4年度医学部優秀教育賞

<b>医学優秀教育賞</b>	駒 貴 明 (微生物病原学分野 准教授)	<b>栄養学優秀教育賞</b>	大 南 博 和 (臨床食管理学分野 助教)
<b>保健学優秀教育賞</b>	多 田 美 由 貴 (地域看護学分野 助教)		

※医学科、医科栄養学科、保健学科の教育および学生指導に貢献した人を表彰する賞です。

## ◆◆◆ 受賞者紹介 ◆◆◆

## 令和4年度 中田賞



第69回医学部卒業生(令和5年3月卒業)  
西岡 佑真

この度は、中田賞という名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。COVID-19感染拡大の中、熱心にご指導いただいた先生方をはじめ、お世話になりました皆様、心より感謝申し上げます。切磋琢磨した友人、温かく見守ってくれた家族、他にも多くの方々を支えられ、徳島大学での6年間は大変実りあるものとなりました。この受賞を励みに、人とのご縁を大切に、医師として社会に貢献できるよう、今後も精進して参ります。

## 令和4年度 児玉賞



第6回医科栄養学科卒業生(令和5年3月卒業)  
中尾 優花

この度は、名誉ある児玉賞をいただき大変光栄に存じます。この賞をいただけたのは、コロナ禍でも学びを継続できるようにお力添えして下さった先生方、優しくアドバイスをくださった先輩方、互いに切磋琢磨し合った友人、そして、どんな時も一番の味方でいてくれた家族のおかげです。この場をお借りし、心より感謝申し上げます。今後もこの賞を励みに栄養学への学びをさらに深めて社会に貢献できるよう、自分らしく精進してまいります。

## 令和4年度 看護学専攻賞



第18回看護学専攻卒業生(令和5年3月卒業)  
足家 くるみ

この度は、名誉ある看護学専攻賞をいただき大変光栄に思います。この賞をいただけたのは、温かく親身にご指導くださった先生方、共に支え合った友人、見守ってくれた家族のおかげです。心より感謝申し上げます。周囲の方の支えがあったからこそ、コロナ禍という制限がある中でも充実した大学生活を送ることができ、大きく成長する機会となりました。今後もこの賞を励みとし、社会に貢献できるよう日々精進してまいります。

## 令和4年度 放射線技術科学専攻賞



第18回放射線技術科学専攻卒業生(令和5年3月卒業)  
榎本 那伎

この度は、名誉ある放射線技術科学専攻賞をいただき、大変光栄に思います。コロナ禍の中で、部活やアルバイトなど大学生活を謳歌しながらも、真摯に勉学に励んだ結果であると思うと、自分に自信を持つことが出来ました。この賞を頂けたのは自分の力だけでなく、家族や友達、大学の教員の方々など様々な人々に助けられたからこそだと思っております。本当にありがとうございます。そして、春から診療放射線技師として働く身として、今後も精進していきたいと思っております。

## 令和4年度 検査技術科学専攻賞



第18回検査技術科学専攻卒業生(令和5年3月卒業)  
下村 未来

この度は、名誉ある検査技術科学専攻賞をいただき大変光栄に思います。この賞をいただけたのは、コロナ禍という大変な時期の中で、支えてくださった先生方や職員の皆様、苦楽を共にした友人、温かく見守ってくれた家族のおかげです。4年間の多くの経験や学びから成長することができ、充実した大学生活となりました。この賞を励みに、今後も努力を重ね、社会に貢献できるよう日々精進してまいります。

## 令和4年度 医学部優秀学生賞

## 【学生】

医 学 科 6 年 次: 山 本 秀 樹  
医 学 科 3 年 次: 片 岡 俊 人  
医科栄養学研究科博士前期課程2年次: 野 邊 悠太郎  
医科栄養学研究科博士後期課程2年次: 森 優 樹  
保健学科放射線技術科学専攻4年次: 瀬 口 真友香  
保健学科検査技術科学専攻4年次: 野 中 蓮

## 【学生団体】

第38回蔵本祭実行委員会 (代表 中井 洸我 外30名)  
子供の自立支援ボランティア 医学部グループ (代表 濱野 悠 外7名)  
美連 (代表 清 綾音 外3名)  
International Association of Health Sciences Students (IAHSS)  
(代表 井原 奈桜 外24名)  
学習支援ボランティアチーム (代表 原 佳菜 外2名)

※各種活動等において顕著な功績があった学生又は学生団体を表彰する賞です。  
※年次は選考時のものです。



徳島大学は、学校教育法第109条第2項の規定による「大学機関別認証評価」を受け、「大学評価基準を満たしている」と認定されました。  
(令和2年3月24日)

- 認証評価機関  
独立行政法人大学改革支援・学位授与機構
- 認証期間 7年間

## 編集後記



医学部だより第46号の発刊にあたり、寄稿いただきました皆様へ感謝申し上げます。本号では、蔵本祭開催報告、留学体験記などの活動報告において、コロナ禍も終盤に入っていることが確認できます。このような状況ですが、令和5年3月末で退職された教授が5名いらっしゃいます。大変残念ですが、先生方のこれまでのご尽力に敬意と感謝を申し上げます。医学部長からの巻頭言にありますように、新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが、令和5年5月8日に季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げる政府の方針が示されました。新しい時代に、徳島大学医学部も新任教職員、新入生の皆様に加わり、輝かしい歴史が続いていくことと、皆様にとって飛躍の年となりますことを祈念しております。

(医学部広報委員会 副委員長 森岡久尚)

発行 徳島大学医学部 編集 医学部広報委員会  
広報委員 橋本一郎(委員長)、森岡久尚、安友康二、高木康志、竹谷 豊、今井芳枝、福川美千代、姜 泰成、濱田侑希、出崎世奈

本誌へのご意見・ご要望は、(総務係) E-mail: [isysoumu1k@tokushima-u.ac.jp](mailto:isysoumu1k@tokushima-u.ac.jp) までお願いします。  
なお、写真は執筆者各位の提供により掲載しています。

Tel: 088-633-9116 Fax: 088-633-9028 URL <https://www.tokushima-u.ac.jp/med/>

医学部ホームページはこちらから →

